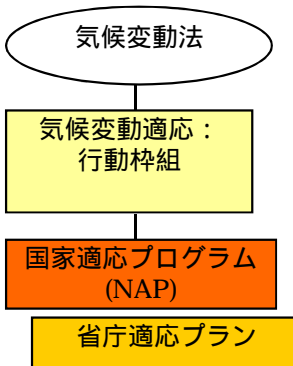
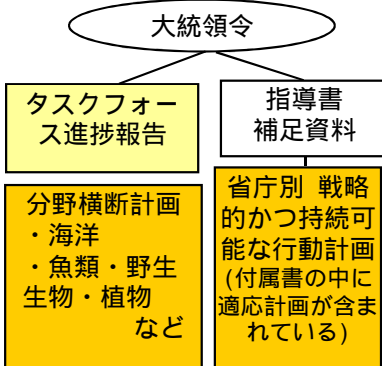
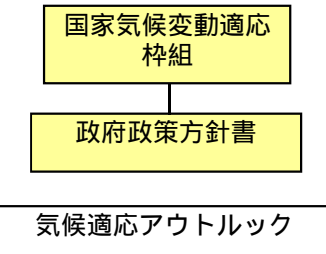
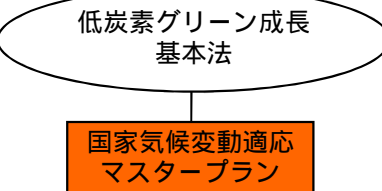
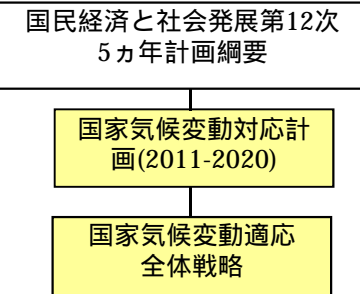


諸外国の適応計画について

平成27年3月23日
総合政策局環境政策課

諸外国の適応計画(概要)

英国、米国等の欧米各国、オーストラリア、さらには中国や韓国においても、適応に関する国としての戦略や計画を策定し、総合的かつ計画的な気候変動への適応の取組を実施。

| | 英国 | 米国 | オーストラリア | 韓国 | 中国 |
|---------|--|--|---|---|---|
| 名称 | <ul style="list-style-type: none"> 英国気候変動適応 - 行動枠組(2008) 国家適応プログラム(NAP・2013) | <ul style="list-style-type: none"> 省庁間気候変動タスクフォース進捗報告書:国家気候変動適応戦略支援行動提言(2010) 戦略的かつ持続可能な行動計画(省庁等41組織別・2013) | <ul style="list-style-type: none"> 国家気候変動適応枠組(2007) 政府政策方針書(2010) | <ul style="list-style-type: none"> 国家気候変動適応マスタープラン(2010) | <ul style="list-style-type: none"> 国家気候変動対応計画(2012) 国家気候変動適応全体戦略(2012) |
| 適応政策の体系 |  <p>気候変動法 ↓ 気候変動適応：行動枠組 ↓ 国家適応プログラム(NAP) ↓ 省庁適応プラン</p> |  <p>大統領令 ↓ タスクフォース進捗報告 指導書 補足資料 ↓ ↓ 分野横断計画・海洋・魚類・野生生物・植物 など 省庁別 戦略的かつ持続可能な行動計画 (付属書の中に適応計画が含まれている)</p> |  <p>国家気候変動適応枠組 ↓ 政府政策方針書 ↓ 気候適応アウトルック</p> |  <p>低炭素グリーン成長基本法 ↓ 国家気候変動適応マスタープラン</p> |  <p>国民経済と社会発展第12次5カ年計画綱要 ↓ 国家気候変動対応計画(2011-2020) ↓ 国家気候変動適応全体戦略</p> |
| 分野 | <ul style="list-style-type: none"> 7分野(環境創造、インフラストラクチャ、健康・回復力をもつコミュニティ、農業・林業、自然環境、ビジネス、地方政府) | <ul style="list-style-type: none"> タスクフォース進捗報告は分野横断(WGは9分野(適応科学、適応計画、水資源の適応、保険、国際、コミュニケーションと広報、都市、健康、植物・魚類・野生生物)で構成) | <ul style="list-style-type: none"> 適応枠組は8分野(水資源、沿岸域、生物多様性、農業・漁業・林業、人の健康、観光、住宅・インフラ・計画、自然災害管理) 政府政策方針書は6分野(沿岸域の管理、水資源、インフラ、国家的意義のある自然システム、自然災害の防止・準備・対応・回復、農業) | <ul style="list-style-type: none"> 10分野(健康、災害・防災、農業、森林、海洋・水産、水管理、生態系、気候変動監視及び予測、適応産業・エネルギー、教育・広報及び国際協力) | <ul style="list-style-type: none"> 不明(第12次5カ年計画は7分野(農業、森林、水資源、生態系、海洋(海洋産業含む)、極端現象、衛生・健康)) |

英国の適応計画 (全体像)

英国においては、「気候変動法 (2008年施行)」により、「気候変動リスク評価報告書 (CCRA: The Climate Change Risk Assessment)」と、「国家適応計画 (NAP: The National Adaptation Program)」の策定と5年ごとのレビューを義務づけ。CCRAは、「気候変動に関するリスク (悪い影響) と機会 (良い影響) を特定するために、一貫性のあるフレームワークを使って評価した結果」とされる。環境・食糧・地方省 (Defra) が作成。
 NAPは、気候変動適応に関する政府の行動をまとめたもの。DefraがCCRAに基づいて、産業界、地方政府、その他の組織と連携しながら作成。

英国の適応計画 (概要)

気候変動リスク評価報告書 (CCRA)

項目ごとの影響の度合いや時期を評価

| | 発生時期と度合い | | | 信頼度 |
|---------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------|
| | 2020s | 2050s | 2080s | |
| 機会 | | | | |
| 氷解による北極航路開通 | High consequences (positive) | High consequences (positive) | High consequences (positive) | High confidence |
| 旅行者訪問地の拡大 | Medium consequences (positive) | Medium consequences (positive) | Medium consequences (positive) | Medium confidence |
| ⋮ | | | | |
| リスク | | | | |
| 重大な洪水 | High consequences (negative) | High consequences (negative) | High consequences (negative) | High confidence |
| 雨量変動による地盤沈下 | Medium consequences (negative) | Medium consequences (negative) | Medium consequences (negative) | Medium confidence |
| 供給可能な水の減少 | Low consequences (negative) | Low consequences (negative) | Low consequences (negative) | Low confidence |
| 荒海による輸送の途絶 | Low consequences (negative) | Low consequences (negative) | Low consequences (negative) | Low confidence |
| 道路・鉄道への洪水リスク | Medium consequences (negative) | Medium consequences (negative) | Medium consequences (negative) | Medium confidence |
| 建物の過熱 | High consequences (negative) | High consequences (negative) | High consequences (negative) | High confidence |
| 流量減少による生態系リスク | Medium consequences (negative) | Medium consequences (negative) | Medium consequences (negative) | Medium confidence |
| ⋮ | | | | |

| | |
|--------------------------------|-------------------------|
| High consequences (positive) | High confidence |
| Medium consequences (positive) | Medium confidence |
| Low consequences (positive) | Low confidence |
| Low consequences (negative) | Low confidence |
| Medium consequences (negative) | Medium confidence |
| High consequences (negative) | High confidence |
| Too uncertain to assess | Too uncertain to assess |

国家適応プログラム (NAP)

リスクに対応した具体の適応策を整理

<ビジョン> : 目指すべき社会像を記載
 (例) 「現在の自然リスクに強靱であり、将来の気候変動に対して準備の出来たインフラネットワーク形成」 等

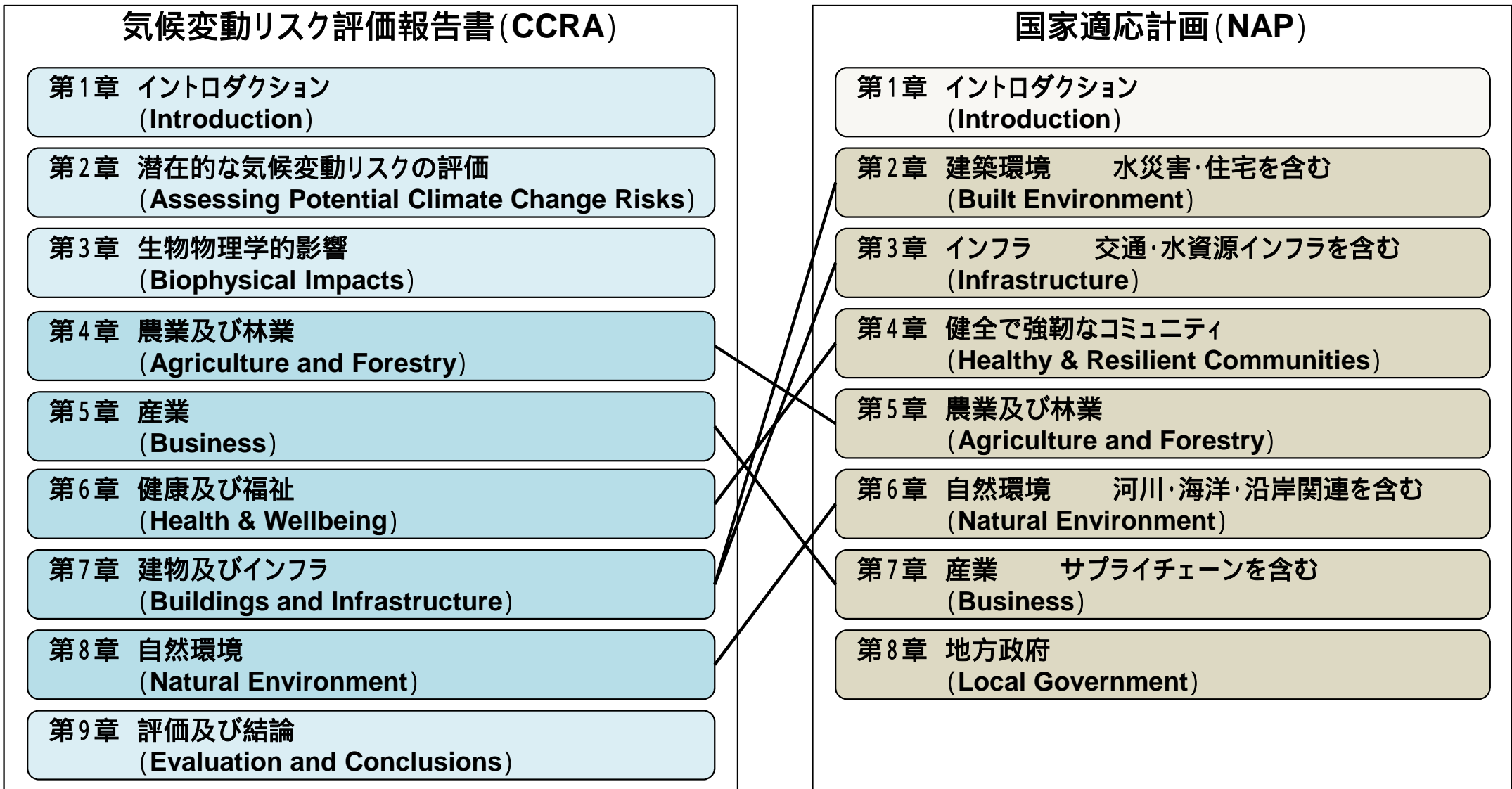
<重点領域> : CCRAや、現状の施策の実施状況等に基づいて、重点的に取り組むべき領域を設定
<目標> : 重点領域ごとに、1~2個の目標を設定

<適応策> : 重点領域・目標別に、対応するリスク・行動・実施主体・時期を網羅的に整理

事例 (抜粋)

| 重点領域 | 目標 | 行動 | 実施主体 | 時期 |
|---|----|---------------------|------------|---------|
| 洪水及び沿岸侵食リスク管理 目標: 官民協働による洪水や浸食の脅威の低減 CCRAリスク: 「重大な洪水リスク」等 | | 洪水情報共有のためのポータルサイト作成 | Defra | 実施中 |
| | | 排水システムに関する基準の改定 | Defra | ~ 2014末 |
| | | 洪水侵食管理戦略 (整備計画) の実施 | Defra, 環境庁 | 実施中 |

| 重点領域 | 目標 | 行動 | 実施主体 | 時期 |
|--|--------|--|------------|-------|
| インフラの資産管理 目標: 気候変動に対して強靱なインフラの計画、設計、導入、及び維持管理 CCRAリスク: 「供給可能な水の減少」「道路・鉄道への重大な洪水リスク」等 | 水 (供給) | ソフト・ハードによる水管理手法 (メニュー) の充実 | Defra他 | 2013~ |
| | | 下水処理水供給のための下水管理計画の改定 | 水道企業 | 実施中 |
| | 交通 | 交通インフラに関する計画への反映 | 交通省 | 2013~ |
| | | WGを通じた交通事業者間の情報共有 道路適応戦略の実施 (個別道路別の影響評価・改良計画策定・実施) | 交通省 道路庁 | 2013~ |



NAPにおける重点領域と目標(1)

| 分野 | 重点領域 | 目標 |
|--------------|-----------------------------|--|
| 建築環境 | 洪水及び沿岸侵食リスク管理 | 1 洪水及び沿岸浸食のリスクを理解し、これらのリスクを管理するための長期計画を導入し、他の計画がそれらを確実に反映することによって、洪水及び沿岸浸食の脅威を減らすため、個人、コミュニティ、組織と協働すること。 |
| | 空間計画 | 2 透明性の高い地域計画の枠組みを全ての計画関係者に提供し持続可能な新しい開発を推進すること；気候変動インパクトに対して脆弱性を最小化し強靭性を提供するインフラを含む |
| | 適応能力の強化 | 3 気候変動リスクを理解し管理するためのスキル、訓練、知識、ツールにアクセスするための支援をこのセクター内のビジネスや産業に対して行うこと。 |
| | | 4 気候変動適応を支援し普及するための経済・評価に基づく意思決定ツールを投資家やデベロッパーが持つことを確実にものにする。 |
| | 家庭及びコミュニティの強靭化 | 5 市民やコミュニティが気候変動の自身に与え得る影響を理解して気候リスクに対する行動を取るようになるための支援をし、住居や建物の強靭性を高めること。 |
| | 長期的対策 | 6 人口の集積地の位置と強靭性の、気候変動との長期的な関連についての理解を模索し築くこと。 |
| インフラ | インフラ資産管理（交通・エネルギー・水資源） | 7 異常気象の増加も含め、気候変動に対して強靭性を有するように、インフラが、設置され、計画され、設計され、維持されることを確実にすること。 |
| | 規制枠組み（交通・エネルギー・水資源） | 8 強靭で適応的なインフラの支援および普及のための基本枠組みを開発すること。 |
| | 地域インフラ | 9 「地域の」インフラ（地域の高速道路）が直面する異常気象や長期気候変動に対する典型的な脆弱性をより良く理解しリスクに対する行動の意思決定をすること。 |
| | インフラ相互依存と気候リスク | 10 気候変動により悪化し得る連続事故のリスクを最小化するために、相互接続・相互依存サービスを理解しその管理方法に関する専門性を発展させる；また、体系的な考えがどのようにこれを支援できるかを特定する。 |
| 健全で強靭なコミュニティ | 公衆衛生・社会医療システムにおける気候レジリエンス | 11 深刻な気象災害や気候変動に起因する死亡や病気のリスクを低減し公衆衛生へのインパクトに対する備えと強靭性を増強すること。 |
| | | 12 異常気象時に増加するサービス需要に対応する能力の増強を含む、公共サービスと強靭な資産/物件の継続性の確保のためにNHS（公衆衛生と社会的なケアのしくみ）の中での気候変動への強靭性を促進すること。 |
| | 社会的弱者 | 13 社会の脆弱なグループの強靭性を高め将来の気候リスクに対して対応し復元するためのよりよい備えをするために、気候変動インパクトを最小化すること。 |
| | 緊急サービス、地域応答システム、地域コミュニティ強靭力 | 14 気候変動による異常気象に対するコミュニティの強靭性（備え、対応、回復）と救急機能や地域レジリエンスフォーラムにおけるカテゴリ1・2の組織の気候変動に対する強靭性を促進し強化すること。 |

NAPにおける重点領域と目標(2)

| 分野 | 重点領域 | 目標 |
|----------------|-----------------------|--|
| 農業 及び 林業 | 効果的な水管理を通じた農業強靱力の構築 | 15 水の確保可能性、洪水、洪水に伴う土地の浸食と汚染を起こす降雨災害の蓋然性と被害規模の変動性を効率的に管理することで農業の強靱性を増強すること。 |
| | 林業の強靱化 | 16 英国の緑地管理レベルと植林と保全に関する適応好事例からの知見を増やしていくことで林業の強靱性を増加すること。 |
| | 害虫・病気からの強靱力 | 17 生物多様性の保護を支援、農林業の生産性を維持、そして英国の輸出力を守るために、ペストや疾病に対する強靱性を増強すること。 |
| | イノベーションとエビデンス | 18 気候変動適応行動を農業、園芸、林業の研究プログラムに組み込み、気候変動の起こり得るインパクトに関する知見を改善し、適切な技術により適応した作物、樹木、家畜及び適切な技術に関する適切なタイミングでの開発や知見を確実なものとする。 |
| 自然 環境 | 気候変動影響への生態学的レジリエンスの構築 | 19 野生の動植物やエコシステム(土地、水、海洋、沿岸)の気候変動に対する強靱性を築き、将来の困難や変化に対して取り得る最も強靱な状態に自然環境を持っていくこと。 |
| | 不可避変化への準備と適応 | 20 野生の動植物やエコシステムが不可避な気候変動に対して順応しスムーズに変化していくことを支援するための行動をとること。 |
| | 自然環境がもたらしうる広い適応価値の評価 | 21 自然環境に対して利益をもたらさず不利益はもたらさないような適応行動基準の適用例に関する他のセクターで広く知られる学びを得ること。 |
| | 根拠基盤の改善 | 22 意思決定者、土地管理者、その他の主体の、気候変動の自然環境への影響、及び自らが適応行動に影響を与え、変化に順応できるかに関する知識と理解を強化するために、より良い根拠となる情報を築いていくこと。 |
| 産業 | 強靱力を通じた事業競争力実現 | 23 気候変動リスクに関する、企業のより良い理解と気づきを増すこと。 |
| | | 24 企業が積極的に、リスク管理や強靱性確保計画、意思決定プロセスの中で気候変動を考慮に入れ、適切な適応行動を取るような範囲を広げること。 |
| | 機会 | 25 国内及び海外における気候変動に伴う機会について企業の気づきと理解を高めること。 |
| | サプライチェーン | 26 ビジネスがサプライチェーンに対する気候変動リスクについてより良く理解し管理を行うようになるための支援を行うこと。 |
| | 研究と理解を通じた成長の維持 | 27 経済成長に対する気候変動インパクトの理解を深めるための研究を実施し、それについて投資家や保険業界、その他の業界とともに取り組んでいくこと。 |
| 地方 政府 | 意識向上、能力の構築、行動の論証 | 28 各地方議会知事と適応行動計画を立ち上げ、維持していき、また地域行政のサービスや行政責任に関する気候変動への強靱性を組み込んでいくための活動を促進していくこと。 |
| | | 29 説得力あるビジネス適応行動のケースを築き、また適応行動サービス分野横断で内部的に、また地域のコミュニティやビジネス横断で外部的に、情報に基づく意思決定を行っていくために、地方行政を支援していくこと。 |
| | 行動枠組み | 30 地方議会が地域主体と連携してコミュニティの強靱性を高めていくための政策枠組みを確実なものにすること。 |
| | | 31 地方議会が地域貢献し気候変動に伴う地域独特の困難や機会に取り組んでいく活動を支援すること。 |

NAPにおいて、最も適応策が網羅的かつ具体的に描かれているのは巻末資料であり、これが本文全体の情報源となっている(本文は、巻末資料の重要度の高いものを中心に要約、文章化した形)

NAP本文

Chapter 2 冒頭 章全体に関わるCCRAリスク

| CCRA Risk | Description |
|-----------|--|
| FL7a/6a | Non-residential and residential properties at significant risk of flooding |
| FL6b/7b | Expected Annual Damage (EAD) to residential and non-residential property due to flooding |
| FL12a/b | Hospitals and schools at significant risk of flooding |
| FL13 | Ability to obtain flood insurance for residential properties |
| BE1 | Urban Heat Island |
| BE3 | Overheating of buildings |
| EN2 | Energy demand for cooling |
| WA3 | Reduction in water available for use |
| WA5 | Public water supply-demand deficit |
| FL2 | Vulnerable people at risk |

巻末参考資料の目標ごとのリスクを章単位で集約して、公倍数的に本文に反映

Chapter 2 Focus Area 2 (Objective 2) 巻末 優先適応行動

| | |
|---|----------------------------|
| Implement the NPPF | Local Planning Authorities |
| Update Planning Practice Guidance to support the implementation of the NPPF | DCLG |
| Climate Ready will support the LGA's Climate Local initiative as a means to signpost advice, tools and examples that can help councils take action to improve the resilience of the local built environment | EA |
| Implement Green Infrastructure Partnership (GIP) work on adaptation | GIP |

NAP巻末資料

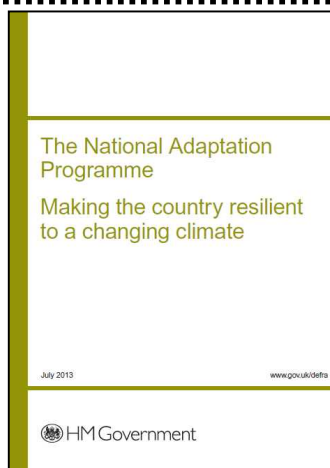
| Objective 2: To provide a clear local planning framework to enable all participants in the planning system to deliver sustainable new development, including infrastructure, that minimises vulnerability and provides resilience to the impacts of climate change. | | | | |
|---|---|---------------------------------------|---|--|
| FL6b Expected Annual Damage (EAD) to residential property due to flooding | Local planning authorities to work with their communities, the Environment Agency and partners to put in place up to date local plans consistent with the National Planning Policy Framework (NPPF), including policies on tackling climate-related impacts, such as flooding and coastal change. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a | Local planning authorities | Authorities have been encouraged to get up to date local plans in line with the NPPF in place as quickly as possible |
| FL7b Expected Annual Damage (EAD) to non-residential property due to flooding | | | | |
| FL13 Ability to obtain flood insurance for residential properties | The Department for Communities and Local Government to update planning guidance to support the implementation of the National Planning Policy Framework's policies on adapting to climate change, in the light of the review of Government planning practice guidance. | ALL CCRA BUILT ENVIRONMENT RISKS | Department for Communities and Local Government | Summer 2013 |
| FL6a Residential properties at significant risk of flooding | | | | |
| BE3 Overheating of buildings | Town and Country Planning Association, supported by Climate UK, has produced guidance: 'Planning for Climate Change, Guidance for local authorities' (2012). This will continue to be promoted by Climate UK via local partnerships networks and events with local authorities. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, EN2, BE9, WA5 | Town and Country Planning Association | Published in 2012 |
| FL2 Vulnerable people at significant risk of flooding | | | | |
| FL7a Non-residential properties at significant risk of flooding | | | | |
| WA5 Public water supply-demand deficit | Environment Agency Climate Ready service to provide input into the development of planning guidance to support the National Planning Policy Framework regarding adaptation to future flood risk and water resources. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, EN2, BE9, WA5 | Environment Agency Climate Ready | 2013 - 2014 |
| EN2 and BE9 Increased energy demand for cooling and reduced energy demand for heating | Environment Agency Climate Ready service to make tools and advice available to planners and developers on future climate risk. This will continue to be promoted by Climate UK via local partnerships, networks and events with local authorities. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, EN2, BE9, WA5 | Environment Agency Climate Ready | Ongoing |
| | Environment Agency Climate Ready service to provide guidance and tools to local Environment Agency teams so they can promote climate change adaptation in their advice to local authorities and developers as part of their role as a consultee to the planning process. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, EN2, BE9, WA5 | Environment Agency Climate Ready | Ongoing |
| | The Green Infrastructure Partnership to promote greater use of Green Infrastructure to achieve better resilience for the built environment in a changing climate. Climate UK partner Sustainability West Midlands will be piloting work with Local Nature Partnerships and Local Enterprise Partnerships in the West Midlands to trial a joint investment project in green infrastructure to deliver economic, environmental and adaptation benefits. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, EN2, BE9, WA5 | Defra, Green Infrastructure Partnership | Ongoing |
| | Environment Agency Climate Ready service will support the Local Government Association's Climate Local initiative as a means of providing advice, tools and examples that can help councils take action to improve the resilience of the local built environment. This will continue to be promoted by Climate UK via local partnerships, networks and events with local authorities. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, EN2, BE9, WA5 | Environment Agency Climate Ready | 2013 onwards |

巻末参考資料の各適応策のうち優先度が高いもの(太字フォントのリスクに対応した適応策)を本文に反映

Built Environment

| Climate Change Risk Assessment (CCRA) risks addressed by objective (highest order CCRA risks in bold) | Actions 行動 | CCRA risks tackled by action CCRA リスク | Owner(s) 実施主体 | Timing 時期 |
|---|---|---|---|---|
| Objective 1: To work with individuals, communities and organisations to reduce the threat of flooding and coastal erosion, including that resulting from climate change, by understanding the risks of flooding and coastal erosion, working together to put in place long-term plans to manage these risks and making sure that other plans take account of them. 目標 | | | | |
| FL6b Expected Annual Damage (EAD) to residential property due to flooding | Defra Flood Management to evaluate the partnership funding approach for flood management. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a, FL2 | Defra Flood Management | By April 2015 |
| FL7b Expected Annual Damage (EAD) to non-residential property due to flooding | Defra Flood Management and the Environment Agency to fully embed property level protection within the partnership funding approach. | FL6b, FL13, FL6a | Defra Flood Management and Environment Agency | By April 2015 |
| FL13 Ability to obtain flood insurance for residential properties FL6a Residential properties at significant risk of flooding FL2 Vulnerable people at significant risk of flooding | Defra and the Environment Agency to implement the Flood and Coastal Erosion Risk Management Strategy for England: <ul style="list-style-type: none"> Government expects to spend £2.3bn on flooding and coastal erosion risk management over the 4 years to March 2015; Strategy will enable 165,000 households to benefit from new and improved defences, flood forecasting and early warning systems; Targeted to those most at risk and living in deprived areas; and £148M expected from private funding and local government. | FL6b, FL7b, FL13, FL6a | Defra Flood Management and Environment Agency | Ongoing |

出典) The National Adaptation Program



NAPの原文は

https://www.gov.uk/government/uploads/system/uploads/attachment_data/file/209866/pb13942-nap-20130701.pdf

米国の適応計画(全体像)

2009年10月5日、大統領令第13514号「環境、エネルギー及び経済の効率化における連邦の統率力」(E.O. 13514)が発令。

同大統領令は、連邦政府各省庁に、2020年における温室ガス排出削減目標の提出、エネルギー効率の向上、車両の石油使用削減、節水、廃棄物削減、政府調達における環境配慮を求めており、これらの目標達成の手段として「戦略的かつ持続可能な行動計画」(Strategic Sustainability Performance Plan: SSPP)の提出を義務付け。

- このSSPP策定の一環として各省庁には、気候変動リスクと脆弱性の評価及び気候変動影響への短期・長期的対応が求められており(E.O. 13514 Section 8(i))、その具体的な方法についてはホワイトハウス環境諮問委員会(CEQ)に委任(E.O. 13514 Section 5(b))。
- CEQは2011年3月に連邦政府省庁による気候変動適応計画策定に関する指導書(INSTRUCTIONS FOR IMPLEMENTING CLIMATE CHANGE ADAPTATION PLANNING IN ACCORDANCE WITH EXECUTIVE ORDER 13514)を発行。各省庁に対して2012年6月4日までにSSPPの一部として、気候変動適応計画を提出し、2013年度より実施することを義務付け。

2012年6月、「戦略的かつ持続可能な行動計画」(Strategic Sustainability Performance Plan: SSPP)を構成する付属文書として、米国運輸省気候変動適応計画(U.S. Department of Transportation Climate Adaptation Plan)が発表。

米国運輸省「気候変動適応計画」

運輸省 戦略的かつ持続可能な行動計画 (SSPP)

- 大統領令第13514号に基づき、2020年までの持続可能性に関する運輸省の目標を設定
- 目標達成に関する経過報告

第1章 政策声明
(Policy Statement)

第2章 概要
(Executive Summary)

第3章 省の規模および管轄範囲
(Agency Size and Scope)

第4章 持続可能性目標と分析
(Sustainability Goals and Analysis)

第5章 付属文書
(Appendices)

付属文書A 気候変動適応計画
(Climate Change Adaptation Plan)

付属文書B 車輦管理計画
(Fleet Management Plan)

付属文書C バイオ・ベース製品調達戦略
(Biobased Procurement Strategy)

運輸省 気候変動適応計画

- 2012、2013年の優先アクションを特定
- 脆弱性、気候変動影響を分析
- 下部組織の取り組みの概説
- 直近における成果の報告

第1章 イントロダクション
(Introduction)

第2章 潜在的脆弱性と気候変動による影響
(Potential Vulnerability and Impacts)

第3章 気候変動適応のための優先アクション
(Priority Actions to Adapt to Climate Change)

- ・連邦航空局 (FAA)
- ・連邦道路管理局 (FHWA)
- ・連邦公共交通局 (FTA)
- ・セントローレンス航路開発公社 (SLSDC)
- ・連邦鉄道局 (FRA)
- ・自動車運搬安全局 (FMCSA)
- ・連邦海事局 (MARAD)
- ・パイプライン・有害物質安全局 (PHMSA)

第4章 気候変動適応における最近の成果
(Recent Accomplishment in Climate Adaptation)

住宅都市開発省 戦略的かつ持続可能な行動計画

(Strategic Sustainability Performance Plan)

- 大統領令第13514号に基づき、2020年までの持続可能性に関する運輸省の目標を設定
- 目標達成に関する経過報告

第1章 政策声明
(Policy Statement)

第2章 概要
(Executive Summary)

第3章 省の規模および管轄範囲
(Agency Size and Scope Table)

第4章 持続可能性目標と分析
(Goal Analysis)

第5章 付属文書
(Appendices)

付属文書A 気候変動適応計画
(Climate Change Adaptation Plan)

付属文書B 車輜管理計画
(Fleet Management Plan)

付属文書C バイオ・ベース製品調達戦略
(Biobased Procurement Strategy)

住宅都市開発省 気候変動適応計画

第1章 要旨
(Executive Summary)

第2章 イントロダクション
(Introduction)

第3章 気候変動リスクと脆弱性の分析
(Climate Change Risk and Vulnerability Analysis)

- ・極暑
- ・降雨量の変化
- ・極端現象
- ・海面上昇

第4章 機会及びアクション
(Opportunities and Actions)

- ・気候変動適応を支援する既存の枠組みとプログラム
- ・気候変動適応策強化のための将来のアクション

第5章 実施
(Implementation)

- ・プログラムの実施
- ・報告及び説明責任